

令和5年度とやま水土里コンクール
知事賞受賞

県営農地整備事業
天神地区委員会

(南砺市)

天神地区委員会の概要

県営農地整備事業「天神地区」を契機に事業調整を行うことを目的に設立された組織ですが、他地区に先駆けて「にんじん」栽培に適した排水対策に積極的に取り組まれました。

設立 平成30年

組織 8名（委員長、副委員長、工事委員2名、
営農委員2名、事務局2名）

県営農地整備事業天神地区

用排水路：L=6,264m、区画整理：A=9.7ha、客土A=2.8ha

総事業費：461百万円

事業工期：平成30年度～令和4年度

受益面積：30.2ha



当地区は、南砺市(旧福光町)の中心地より南西に位置し、一級河川小矢部川の左岸の農地面積20.2haの水田地帯。

JA福光との連携や関連事業を活用した営農体系の策定検討

高収益作物の導入検討にあたっては、機械化一貫体系が確立された「にんじん」の大規模生産地を目指すJA福光と地区内の担い手が連携を図り、「中山間地農業ルネッサンス推進事業」を活用した地区内実証ほ場を設け、排水対策の検討を他地区に先駆けて行うことで「にんじん大規模栽培マニュアル」の策定に大きく寄与されました。

また、JA福光が「にんじん」の共同利用機械の導入に加えて洗浄選別施設や予冷施設を整備するなどの取組みを受け、地区内の担い手が「スマート農業実証プロジェクト」に参加・協力し、生産コスト削減に繋がる営農体系確立を目指すなど、JA福光と連携しつつ関連事業を活用した営農体系策定検討の取組みがなされました。

にんじん栽培(高収益作物)に向けた積極的な取組み

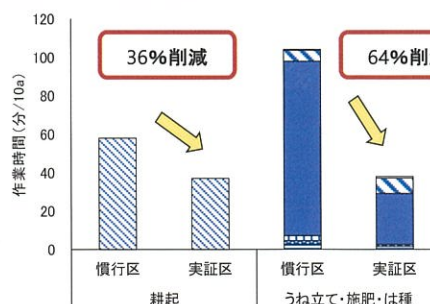
上述の「スマート農業実証プロジェクト」において、生産コスト削減に向けて①直進アシストトラクタ+超砕土成型ロータリ+可変施肥播種や②ドローン防除、③ICT環境モニタリング利用かん水などのスマート農機を用いた実証に積極的に取り組んでいます。

この取組みにより、「にんじん」栽培において大幅なコスト削減が可能であることが分かったことから、当地区はもとより他の栽培ほ場へノウハウを活用するとともに技術継承や作業の効率化を図りつつ、今後の栽培面積拡大や収益増に繋がることが期待されています。

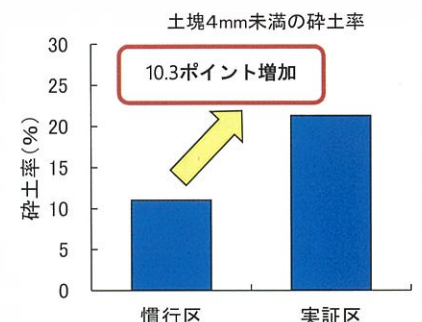
直進アシストトラクタ+超砕ロータリによる播種



直進アシストトラクタ使用による播種後のほ場



【直進アシストトラクタ+可変施肥播種】



【超破砕土成型ロータリ】